

2024 年度前期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	工学部・建築学科・三年
------------	-------------

<p>(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか</p> <p>まずは、英語で円滑にコミュニケーションをとる方法を学んだ。最初は特にリスニングが難しかったが、アクセントや単語のつながりを意識すると、五日目ぐらいから徐々に理解できるようになった。また、外国語のメニューを読み、注文するなど日常生活を自力で解決することを学んだ。そして、メンバーの方々と協力し合いながら解決することも学んだ。その中で、意見の発信、受信の大切さも学んだ。それぞれの街を観光し、文化や歴史について学ぶことができた。今までよりも自身の知見、視野、価値観を広げることができた。今回のプログラムの経験を経て、外国語への興味・関心がさらに深まった。実際に体験、経験することの大切さを学んだ。そのため、さらに外国語を深く学ぶことや、世界各国の文化や歴史を学ぶことに活かしたいと思った。また、自分で問題を解決する能力や精神力も養えたため、これからの大学生活で困難に直面した際に活かしたい。また、円滑にコミュニケーションをとることは、大学での研究室、部活動、就職活動、社会人生活など多様な場面で必要となるのでその際に活かしたい。</p>
<p>(2) プログラム内容についての全体的な感想</p> <p>全体的にとっても良かった。大学での講義、文化や歴史を学ぶ観光、メンバーとの食事などのバランスが良かった。そのため、それぞれの経験がより印象的になった。また、大学の学生が数名付き添ってくれたため、気軽に英語でコミュニケーションをとることができ、より楽しいプログラムとなった。また、日本との違いで苦労することが多くあると思ったが、その違いこそが面白さや新鮮さとなり、留学がさらに趣深いものとなった。また、引率して下さった二名の先生方には感謝したい。二名のおかげで自分は安心して留学を行えた。</p>
<p>(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス</p> <p>留学に少しでも興味があるならば参加した方が良いと思う。しかし、あくまで留学であり、旅行ではないので最低限の語学能力を身につけるべきだと思う。しかし、語学力があまりなくても、積極性、関心、強い気持ちなどがあれば十分に多くのことが得られると思う。そして実際の留学先では引率の先生方、大学、親、友人など様々な方の支えに感謝しながら存分に楽しむべきであると思う。また、勉強する際も TOEIC, TOEFL などの試験</p>

のためと思わずに、「楽しく海外の方とコミュニケーションをとる手段としての語学」という意識で行う方がより豊かな学びにつながると思う。日本との違いもあるが、それは意外とストレスにならないので、積極的に留学プログラムに参加することを強く勧める。

2024 年度前期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	教育学部第一類初等教育教員養成コース 1 年
(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか	
<p>今回の START プログラムのオーストリアコースでは SDGs がテーマとなっており、滞在期間中にオーストリアの街中では日本とは異なった SDGs に考慮しているものが見受けることが出来ました。例えば、移動手段では自転車が主流であることが一番印象に残っています。大学での sustainable development の授業では日本の大学の授業方法とは異なったフィールドワークやグループワークを通して各行動による地球の環境保護活動による好影響の度合いを学びました。私自身環境問題や SDGs について興味があったので実際に取り組みを行っている大学の講義を受けることができ、とても良い経験となりました。現地の学生と話す時、一方的にひたすら話してもらっていたことが印象に残っています。そのため、なるべく積極的に話すように意識をするようになり、現地の学生とより良い交流を持つことが出来たと思えました。英語でコミュニケーションをとる際に START プログラムでは実際に現地の大学で授業を受けることができるため、留学のイメージを掴むことができると思いました。今回のオーストリア留学では自分の英語力不足を感じたので、これからの大学生活では今後の留学準備も兼ねて TOEFL の勉強を中心に英語の勉強を続けて頑張りたいと思います。また、HUSA で留学を希望しているので長期間にわたって留学情報を収集して留学準備を進めていきたいと思っています。</p>	
(2) プログラム内容についての全体的な感想	
<p>START プログラムのオーストリアコースでは、大学で実際に授業を受けるだけでなく、オーストリアの中で三つの都市を巡って、観光をすることができてとても充実したプログラムだと思えました。オーストリアコースでは SDGs がテーマとなっていたので、SDGs に因んだ場所へ行く機会が多くあったと思います。例えば、環境にやさしいオーガニックチョコレート工場への見学はとても印象的でした。初めて環境へ配慮をした企業へ実際に見学ができてとても良い経験となりました。ほとんどの START プログラムは現地の大学が夏季休業期間中に訪問するため難しいかもしれませんが、現地の大学生の方との交流がさらにあればもっと英語を使用する機会を増やせるのではないのかと思えました。今回のオーストリアコースでは大学の講義や夕食の時のみ現地の学生との交流がなかったので出来れば一緒に宿泊をするなどして滞在期間中に日常生活で英語を運用する能力を伸ばすことができると思いました。START プログラムの内容はとても充実しており、とても良い経験になりました。今回のプログラムを立ち上げるのに携わった方々全員に感謝しています。本当にありがとうございました。今回の START プログラムを一つのステップとしてこれからの自身の大学生活に活かしていきたいと思っています。</p>	

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

START プログラムは長期留学へ行くのを悩んでいる学生、短期間だけ留学気分を味わいたい学生にお勧めしたいと思います。START プログラムでは国によって異なるかもしれませんが、自由行動があるため事前に行きたい場所を調べておいた方がいいと思いましたが、事前に調べておくことで、わずかな自由時間でもスムーズにいきたい場所へ行くことが出来ると思います。START プログラムでは広島大学が実際に協定を結んでいる大学へ行くので大学の関係者の方々と留学へ行くためにどうすれば良いのか相談を受け、関係を持つことができます。私自身、グラーツ大学の SDGs の講義がとても興味深かったため、仮にグラーツ大学へ交換留学することになれば現在自分が広島大学で履修している単位とグラーツ大学の単位は変換が可能なのか直接大学の事務の方と話すことが出来ました。そのため留学へ行くことをある程度決めている方は、自分が現時点で留学へ行くのに興味を持っている大学へ行くことをお勧めします。